

2026年6月8日
環境社会配慮助言委員会委員長 原嶋 洋平
担当ワーキンググループ主査 長谷川 弘

ウズベキスタン国国際連結性強化事業
(協力準備調査(有償))
スコーピング案に対する助言

助言案検討の経緯

ワーキンググループ会合

- ・日時：2026年5月22日(金) 13:56～16:34
- ・場所：JICA 本部（2階 202会議室）及びオンライン
- ・ワーキンググループ委員：重田委員、柴田委員、長谷川委員、山岡委員
- ・議題：ウズベキスタン国国際連結性強化事業（協力準備調査（有償））に係るスコーピング案についての助言案作成
- ・配付資料：
 - 1) 【事前配布資料】ウズベキスタン国国際連結性強化事業（協力準備調査（有償））SC案
 - 2) 回答表及び別添資料
- ・適用ガイドライン：国際協力機構環境社会配慮ガイドライン（2022年1月）

全体会合（第179回委員会）

- ・日時：2026年6月8日(月) 14:00～17:17
- ・場所：JICA 本部（2階 202会議室）及びオンライン

上記の会合にて助言を確定した。

助言

代替案検討

1. 客観性を高めるためゼロオプション（事業を実施しない案）を含めた代替案比較を行い、その結果を DFR に記載すること。

スコーピングマトリクス

2. 景観及び地域分断の影響について、沿線住民との協議を含め現地調査を通じて住民の懸念を把握し、必要に応じて対応策を検討し、その結果を DFR に記載すること。

環境配慮

3. 工事に伴う水質調査サンプリング時期としては、工事排水の流れ込む河川や灌漑用水路に対して、流量が増加する時期及び、流量が減少する時期を検討の上選定し、その結果を DFR に記載すること。
4. ロードキル及び河川利用についても TOR に含め、その実態や影響及び対応策を DFR に記載すること。
5. 保護区には間接的影響が及ぶ可能性があるとしているが、特に希少種の影響を調査し、事業による森林移植や大気汚染等の影響を把握し、緩和策を国立公園局と協議し、その結果を DFR に記載すること。

ステークホルダー協議・情報公開

6. ステークホルダー協議におけるバリアフリーや障がい者保護の制度整備と少数言語者への情報提供を配慮することを実施機関へ申し入れ、その結果を DFR に記載すること。

以 上